

有限温度 2 カラー QCD におけるポリヤコフ ループのふるまい

高知大学 理学部 飯田 圭

目的 有限温度・有限密度2カラーQCDの相図と超流動性の
の解明に向けての準備。

内容 格子作用としてはIwasaki ゲージ作用とWilson格子
フェルミオンを用いてハイブリッドモンテカルロ法を用い
た配位生成シミュレーションを行った。

結果 格子サイズや k を変えつつ、ポリヤコフループの β 依
存性を調べ、コードが適切であることを確認した。

利用した計算機	SX-ACE
ノード時間	7,903時間
使用メモリ	11GB
並列化	4並列

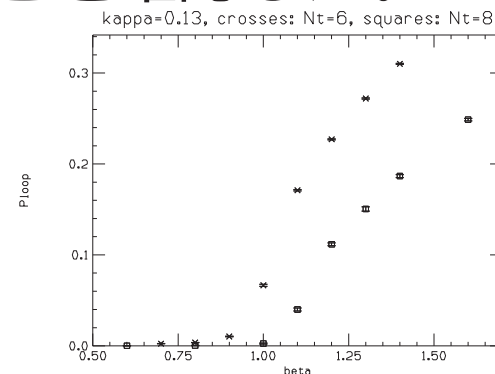


図 (ポリヤコフループの β 依存性)